

## 第2節 令和5年度の防衛力整備

### 1 基本的考え方

整備計画においては、防衛戦略に従い、宇宙・サイバー・電磁波を含む全ての領域における能力を有機的に融合し、平時から有事までのあらゆる段階における柔軟かつ戦略的な活動の常時継続的な実施を可能とする多次元統合防衛力を抜本的に強化し、相手の能力と新しい戦い方に着目して、5年後の令和9（2027）年度までに、わが国への侵攻が生起する場合には、わが国が主たる責任をもって対処し、同盟国等の支援を受けつつ、これを阻止・排除できるようにすることとしている。この防衛力の抜本的強化に当たっては、7つの分野を重視することとしている。

まず、隊員の安全を可能な限り確保する観点から、相手の脅威圏外からできる限り遠方において阻止する能力を高め、抑止力を強化するため、①スタンド・オフ防衛能力

を強化する。また、多様化・複雑化する経空脅威に適切に対処するため、②統合防空ミサイル防衛能力を強化する。

次に、万が一、抑止が破れ、わが国への侵攻が生起した場合には、スタンド・オフ防衛能力と統合防空ミサイル防衛能力に加え、有人アセット、さらに無人アセットを駆使するとともに、水中・海上・空中といった領域を横断して優越を獲得し、非対称な優勢を確保する。このため、③無人アセット防衛能力、④領域横断作戦能力及び⑤指揮統制・情報関連機能を強化する。

さらに、迅速かつ粘り強く活動し続けて、相手方に侵攻意図を断念させるため、⑥機動展開能力・国民保護や、弾薬・燃料の確保、可動数の向上、施設の強靱化等の⑦持続性・強靱性を強化する。

### 2 令和5年度の防衛力整備

令和5（2023）年度の防衛力整備は、令和9（2027）年度までに防衛力を抜本的に強化するために必要な取組を積み上げ、整備計画の初年度として相応しい内容と予算規模を確保した。

具体的には、将来の防衛力の中核となる分野について、スタンド・オフ防衛能力及び無人アセット防衛能力などについて予算を大幅に増やしている。また、統合防空ミサイル防衛能力、宇宙・サイバーを含む領域横断作戦能力、指揮統制・情報関連機能、機動展開の能力・国民保護、持続性・強靱性、防衛生産・技術基盤などについて所要額を確保している。

中でも、現有装備品の最大限の活用のため、可動向上

や弾薬確保、主要な防衛施設の強靱化への投資を加速するほか、隊員の生活・勤務環境の改善に必要な予算については、所要額をしっかりと確保している。特に、隊員の健康にも直接影響があり、部隊からのニーズも高い空調は、最大限対応している。

具体的な防衛関係費の所要額については、第Ⅱ部第4章第3節を参照。

加えて、格段に厳しさを増す財政事情などを勘案し、一層の効率化・合理化を徹底する。

**参照** 図表Ⅱ-4-2-1（令和5（2023）年度防衛力整備の主要事業（防衛力の抜本的強化に当たって重視する7つの主要分野））



資料：令和5（2023）年度の概要

URL：[https://www.mod.go.jp/j/budget/yosan\\_gaiyo/index.html](https://www.mod.go.jp/j/budget/yosan_gaiyo/index.html)

図表Ⅱ-4-2-1 令和5(2023)年度防衛力整備の主要事業(防衛力の抜本的強化に当たって重視する7つの主要分野)

獲得・強化すべき機能・能力	概 要
<p>スタンド・オフ防衛能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○12式地对艦誘導弾能力向上型の開発(地発型・艦発型・空発型)及び量産(地発型)</li> <li>○島嶼防衛用高速滑空弾の研究及び量産</li> <li>○島嶼防衛用高速滑空弾(能力向上型)の開発</li> <li>○極超音速誘導弾の研究</li> <li>○JASSMの取得</li> <li>○トマホークの取得 など</li> </ul>     
<p>統合防空ミサイル防衛能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○イージス・システム搭載艦の導入</li> <li>○03式中距離地对空誘導弾(改善型)能力向上型の開発</li> <li>○SM-3ブロックII A、SM-6、PAC-3MSE等の整備</li> <li>○HGV対処用誘導弾システムの研究</li> <li>○FPS-5、FPS-7及びJADGEの能力向上</li> <li>○早期警戒機(E-2D)(5機)の取得</li> <li>○移動式警戒管制レーダー(TPS-102A)の取得 など</li> </ul>   
<p>無人アセット防衛能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○UAV(中域用)機能向上型(6式)の取得</li> <li>○多用途/攻撃用UAVの運用実証</li> <li>○対地偵察・警戒・監視用UGV/UAVの運用実証</li> <li>○小型UGVに関する研究</li> <li>○海洋観測用UUVの整備</li> <li>○機雷捜索用UUV(OZZ-5)の整備 など</li> </ul>  
<p>領域横断作戦能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○宇宙領域の活用に必要な共通キー技術の先行実証</li> <li>○衛星を活用したHGV探知・追尾等の対処能力の向上に必要な技術実証</li> <li>○SDA衛星の整備</li> <li>○リスク管理枠組み(RMF)の導入</li> <li>○サイバー関連部隊の体制拡充</li> <li>○サイバー要員の教育基盤の拡充</li> <li>○ネットワーク電子戦システム(NEWS)能力向上</li> <li>○高出力マイクロ波(HPM)照射装置の取得</li> <li>○次期装輪装甲車(人員輸送型)(26両)の取得</li> <li>○16式機動戦闘車(24両)の取得</li> <li>○固定翼哨戒機(P-1)(3機)</li> <li>○回転翼哨戒機(SH-60K(能力向上型))(6機)の取得</li> <li>○護衛艦(2隻)、哨戒艦(4隻)、潜水艦(1隻)の建造</li> <li>○戦闘機(F-35A)(8機)、戦闘機(F-35B)(8機)</li> <li>○救難ヘリコプター(UH-60J)(12機)の取得</li> <li>○戦闘機(F-15)の能力向上 など</li> </ul>    
<p>指揮統制・情報関連機能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指揮統制機能の強化</li> <li>○情報収集・分析等機能の強化</li> <li>○認知領域を含む情報戦等への対応 など</li> </ul>
<p>機動展開能力・国民保護</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小型級船舶(2隻)の建造</li> <li>○輸送機(C-2)(2機)の取得</li> <li>○多用途ヘリコプター(UH-2)(13機)の取得</li> <li>○掃海・輸送ヘリコプター(MCH-101)(2機)の取得</li> <li>○各種トラック等の取得 など</li> </ul>  
<p>持続性・強靱性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○継続的な部隊運用に必要な各種弾薬の取得</li> <li>○装備品の維持整備</li> <li>○火薬庫の確保</li> <li>○自衛隊施設の抗たん性の向上 など</li> </ul>  